

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	吉田 仁美	学校名	習志野市立袖ヶ浦東小学校
実施学年	3学年(自・情学級)	教科	算数
単元名	あまりのあるわり算		

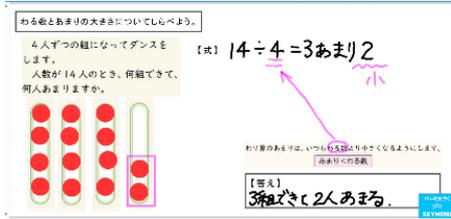
《学びを深めたいポイント》

・具体物を使うことで、余りの意味や余りのあるわり算の仕方の理解を深め、答えを求めることができる。

《SKYMENU 活用のポイント》

・実際に、図を自分で動かし、分けてみることで、余りの意味を理解したり、答えを導き出したりすることができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	1 九九の歌を歌う。 ・歌を通して、九九を楽しく思い出 す。		
展 開	2 あまりの大きさに注目しながら 問題を解く。	・アレイ図を使って、実際に●を動か し、余りについての理解を深める。 	・どのように考えたのか、●を 動かしながら説明していくこ とで、友達に分かりやすく説 明することができる。 ・ライブ提出箱に提出するこ とで、全員の活動状況を把握 する。
ま と め	3 振り返りをする。 ・あまり<わる数を抑える。 4 練習問題を解く。 ・ミライシードにて、課題配信した ものに取り組む。 ・カフトにて、楽しみながら問題 に取り組む。		

《実践を振り返って》

【成果】

・これまでの数図ブロックで操作をすると、他の問題を解こうとした時に、一度崩して再度ブロックを動かすという
ことで、後から見返すことができなかつた。発表ノートのアレイ図を使用することで、自分の動かしたものが残り、見
返すことができるようになった。そのため、学習を振り返る際に、有効的だと感じた。

【課題】

・アレイ図の●の数を児童がコピーをしてしまい数が増えていたケースがあつた。●の数に気を付けて取り組む必
要があつた。